

部局名	産業活力部	所属名	農政課	所属長名	山本 良一	電 話	483-1151 内線3561
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4096		事務事業名称	農業の郷整備事業						短縮コード	経常		臨時	4096
予算区分	会計	01	一般会計	款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他					根拠法令等	農業経営基盤強化促進法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
平成5年「農業経営基盤強化促進法」が改正施行され、経営規模の拡大や生産方式の合理化等経営の改善を図ろうとする農業者（経営体）に対する支援措置が強化された。本市においては、「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」を策定し、意欲ある農業者（経営体）の育成を目指している。そのような中で、農業を中心とした地場産業の振興及び都市と農村の交流の場づくりを目的とし、事業を開始した。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測						総合計画の施策体系	5本の柱（章）	05	産業活力都市をめざして					
国は、担い手への集中的・重点的な施策を展開し、農業の構造改革に取り組んでいる。今後は、国の施策に対応できる農業者（経営体）の育成支援が必要である。							大項目（節）	01	農業					
							中 項 目	01	農業					
							小項目（施策）	06	市民とふれあう農業の推進					
							細 項 目	02	市民と農家との交流					
実施計画の計画事業	5102	やちよふれあいの農業の郷整備事業												
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		平成20年4月 ～ 平成23年3月		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	住民（農家、都市住民）							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： やちよふれあいの農業の郷基本設計、ふれあいの農業の郷用地等取得事業委託(千葉県地方土地開発公社)、物件調査、分筆測量、不動産鑑定(意見書)							
	※平成21年度に計画していること： 市道島田台・平戸線道路改良事業用地取得及び物件補償(土地開発基金で対応)、所有権移転登記、進入路設計書							
意図 （何を狙っているのか）	農家や農業地域にとって、農業や農村空間を利用した都市住民との交流、農産物や農産加工品の販路の開拓・確保、農産加工・販売など農業経営の安定、地場産業の情報発信が目的となり、都市住民にとって、体験型観光、ゆとりある休暇、新鮮でおいしい農産物が目的となる。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	1 9 年度	2 0 年度		2 1 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	住民数	人	188, 624	191, 000	191, 469	194, 000	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	施設整備計画面積	m ²	13, 431	13, 431	13, 431	13, 431	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	施設整備完了面積	m ²	0	0	0	0	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	4096	事務事業名称	農業の郷整備事業				所属名	農政課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			農業情勢の動向に注視し、かつ施設の管理者等となる者や市民等の意見を参考とし、必要なものを適宜見直し実施する。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☒ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止(事業完了含む)								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			基本設計では、最大の整備水準で設計したため、今後は、施設の管理者等となる者や市民等の意見を聴取し、施設の内容を含めどの程度の整備が必要なのかを精査し、最小の経費で最大の効果を上げるよう努めなければならない。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☒	☐	☐		
		低 下	☐	☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
市民や議会から計画の中に含まれている本計画地である島田側と既存のふるさとステーションを結ぶ橋が不要ではないかとの意見があるが、地元住民からは橋に対する要望が強い。									

所属長コメント	・都市と農村の交流の場作りを整備することにより、今後の八千代市の農業の活性化を図るため、事業の展開を容易にするための計画作成である。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，実施設計に向けて様々な手法について検討した上で実施すべき。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☒ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止(事業完了含む)									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									